



JYDA INFORMATION

日青協からのお知らせ

Webサイト ▶ <https://www.jyda.jp/>

日本青少年育成協会は、世界につながる若い力の『育ち』を応援します。

Webサイトには、日青協の全てが詰まっています。

Webサイトのメニューから各ページをご参照ください。

各委員会の活動内容はトピックスで配信中



加盟企業・30年の歩みなど



各委員会の事業サイトもTOPページから



活動内容は、SNS・メールマガジンでも配信中



入会をご希望の皆様へ

入会の流れ

01 Webサイト上の「入会の流れ」をご確認 ▶ 02 入会申請 ▶ 03 理事会の承認 ▶ 04 会費のご入金確認後 会員となります

申請方法

右記URLにある「入会の流れ」ページをご確認の上、お申し込みください。各種申請書もダウンロードできます。

入会申請・入会の流れ

<https://www.jyda.jp/about>



会員費

- 1種年額30,000円(月額2,500円)
- 2種年額60,000円(月額5,000円)
- 3種年額120,000円(月額10,000円)
- 4種年額180,000円(月額15,000円)
- 5種年額240,000円(月額20,000円)
- 6種年額360,000円(月額30,000円)
- 7種年額600,000円(月額50,000円)
- 8種年額1,200,000円(月額100,000円)

入会についての詳細は下記にお問い合わせください



お問い合わせ

一般社団法人日本青少年育成協会 TEL: 03-3269-8411 Mail: seminar@jyda.jp

子供たちの明日へつながる

かけはし

Vol.18

2025年 5月

<https://www.jyda.jp/>

令和6年度 活動の軌跡

PAST



FUTURE



一般社団法人 日本青少年育成協会
Japan Youth Development Association

【本部】

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-46 ローレル神楽坂ビル 7F
TEL: 03-3269-8411 FAX: 03-3269-8414 E-mail: seminar@jyda.jp

【コーチング事業部】

〒604-0857 京都府京都市中京区烏丸通り 二条上ル時絵屋町 265-2 SCG ビル 3F
TEL: 075-256-8828 FAX: 075-256-8829

瀬戸内の小島に浮かぶ

牛窓研修センター カリヨンハウス

Carry me out

Into the wind and the sunshine

Into the beautiful world

W・E・Henley

人間は自分の体を通して経験したことだけは確実に
自分の力にすることができます。
積み重ねられた様々な体験は記憶の奥底で
いつの日か情報として取り出されるのを待つことになります。

たくさんの力を蓄えて大きく、大きく、なろう。
元気になるう、強くなるう
そして人にも自分にも優しくなろう。

それは人として正しい根っこを育てること。
いつの時代でも人として正しく生きていく力を育てることができる
「体験の場所」としての研修センターであり続けたい。
それが私たちの願いです。

牛窓研修センターカリヨンハウス スタッフ一同

ご利用プラン例

企業研修プラン

幹部研修・新人研修など
社内研修などに

学校団体プラン

小学校・中学校・高校の
修学旅行などに

学童スポーツプラン

地域の学童や
スポーツクラブの活動などに

大学サークルプラン

合宿やグループの
親睦活動などに



本館入口



カリヨン天文館



玄関桟橋



バルコニー



夜の玄関ホール



野外炊飯場



玄関ホール



研修室

牛窓研修センター カリヨンハウス

問い合わせ先

TEL. 0869-34-5808

〒701-4302 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓6356-57

ホームページはこちらから

牛窓 カリヨンハウス

検索



日本青少年育成協会とは？



×



一般社団法人です。

1994年4月15日、日本青少年育成協会は、内閣府
(旧総務庁)所管の基、内閣総理大臣によって社団法人として許可されました。

当協会は、青少年の健全育成に寄与することを目的として、
青少年指導者の養成・研修、青少年の育成に携わる者の意識啓発、
青少年の社会参加活動の振興、青少年育成の在り方についての
調査研究等の事業を行っています。

私たちは、通称「日青協(にっせいきょう)」と呼ばれています。

設立から約30年間、日本国内の青少年の教育サポートを中心に、
東南アジアでの学校設立など、数多くの事業を展開しています。

MISSION

世界の人々から尊敬され、信頼され、愛される日本人(青少年)の育成と
そこに携わるに相応しい『架橋力』を持った指導者の育成を行うことを使命とする。

『架橋力』=人と人との間に心の橋を架ける力

日青協が
すぐにわかる
動画



空気が育む人と組織

—方針なき方針—

増澤会長「本田さん、今回は私から一方的に方針を伝えるのではなく、対談形式で『来年度について』話をしませんか？「来年の方針はこうしましょう、方針がこうだからこうせねば」というやり方は、私は本来苦手なのです。

私が大事にしてきたもの、そしてこれからも大事にしていきたいものは、一言でいうと、「空気」なんです。弊社でも時折「空気の教育」という言葉で表現しております。会社でしたら「社風」、教室でしたら「校風」、地域でいうと「風土」、それらから生みだされる「文化」—このようなものを大切にしたいと思っております。

例えば教室を例にとってみると、授業が始まる前、誰も何も言わなくても生徒が自学自習に取り組んでいる教室もあれば、授業が始まるまでざわついている教室もあります。校風がそれを創り出しているのです。空気がそうしているわけです。いわば「空気が人を育てる」ということです。ですから今回は、お互いインタビューになって質問しあいましょう。

日青協には11の委員会があり、立派な大人の集団なのですから、来年度の方針はその方々にお任せするのが一番だと考えております。皆さんはスーパーボランティア並みの動きで、報酬もない中、時間を創り出して毎回の理事会、総会、イベント等に集まって下さいます。そんな皆さんに「今年の方針はこうで、こうなさい」というのは、そもそも私の性格に合いません。既に自ら動いていらっしゃるのです、我々のインタビューのやりとりを皆さんに発信し、あとは感じていただいて、それぞれの委員会で計画、企画、創造していただきたいというのが、私の正直な思いです。」

事務局長「はい わかりました。会長いつも斬新なご提案ありがとうございます。」

増澤会長「では最初に、私から本田事務局長にインタビューします。事務局長、今年を振り返ってどんな一年でしたか？どんな活動をやって、どんな感動がありましたか？」

事務局長「以下のような活動でした。（一覧表参照）」

印象深かったものを一つ上げるならば、なんといってもHSKフェ



1月	愛媛のサッカークラブで岡田監督のスタジアムでの理事会 チャリティイベント
3月	オンライン留学 理事会
4月	チャリティイベント 国際中文教師資格試験
5月	総会 宝機様の講演会 チャリティイベント
6月	オンライン留学 国際中文教師資格試験
7月	新宿区後援事業 ワークショップ開催 五島市就職支援事業 入札 落札 オンライン留学
9月	国際中文教師資格試験
10月	19日 HSK フェア 17日セミナー 18日セミナー 19日フェア 19日 異業種交流会 20日 教育コミュニケーションフォーラム
11月	世界中文大会参加
12月	教育コーチングトレーナー総会 華中科学技術大学短期留学サポート 南海大学短期留学サポート 国際中文教師資格試験

・毎月行っているもの HSK試験／スポーツ委員会会議／国際交流勉強会と拡大会議／留学説明会／高校大学に向いてHSK説明会

アでした」

増澤会長「どんなところか？」

事務局長「9回目を迎え、さらに会場（大正大学）が昨年と同じということもあって、我々としては慣れているつもりでございました。九分九厘準備が整いかけた開催日の2週間前くらいだったでしょうか。中国側から「規模を大きくしなさい。VIP（中国大使、外務省や文科省ははじめ約10名以上の来賓）をお迎えしてください」という要請がありました。そこから大変で、私自身心の中では、今からできるわけがないという思い込みとの闘いでした。」

増澤会長「そんな状況で感じたこと、感動したことは？」

事務局長「結果、今では中国側からの要請を受け入れて本当によかったと思っております。」

増澤会長「それは？ どうして？」

事務局長「まず在日本国大使館 呉大使と文科省からの来賓、さらに関係機関約10名をお招きできたこと。SP付きの来賓は初めての経験でしたし、またVIPの方々同士も初対面でした。そんな緊張の中、会長の場づくり、空気づくりを間近で拝見できたことです。これは本当に大きかったです。リラックスした雰囲気になって、厳格かつ笑顔あふれる式典がとり行われました。そこからの勢いが、フェア全体を成功へ導いたように思います。大使も来賓の皆様も試験会場、フェア会場をご覧くださいましたが、フェアの規模の大きさに驚かれて、予定時間をオーバーしても会場を見学しておられたことから、大変喜んでお帰りいただけたと思っております。日青協の存在をしっかりアピールできたように思います。」

増澤会長「そうでしたか。そんな大変な感じは受けなかったですけどね。会場で一生懸命接客されるスタッフの皆さんの笑顔が印象的でしたよ。」

事務局長「ありがとうございます。では会長、フェアの件で、こちらからもインタビューよろしいでしょうか？」

増澤会長「いいですよ」

事務局長「控室がとにかく明るかったですし、和やかでした。その中心にいらしたのは会長でした。意図的にやられていたのですか？」

増澤会長「いやあ—いつもと変わりなく、なんの企てもなく、コミュニケーションをとっていました。ただね、まったく知らない者同士でも集まって同じ目的で動くわけなので、元々通じ合えるものがあるんですよ。だから、こんなことは言ってはいけないとか言葉遣いがこうでないとはいけないとか全然考えず自分の言葉で、本音で接してただけです。」

事務局長「そうですか。あの場づくりはなかなか表現しようがなく言葉が見つかりません。今回のインタビューを通してわかったのですが、空気づくりが意図的でなく自然体でしたから、初対面でも和やかな雰囲気を醸し出すことができたのですね。控室で創られた空気があったからこそ、冒頭の会長のスピーチから始まった式典が、一気に笑顔に包まれる流れとなりました。その結果フェア自体の大成功を収めることができました。会長が空気づくりにおいて、一番大事にしていられることは何ですか？」

増澤会長「ん——これをいうとね—振り出しに戻るんです。つまり言おうと思えば 言えないことはないんですが、相当な時間を要します。つまり全てなんです。それを文字で伝えてしまうと『こうしなさい、こうせねば』になってしまいます。冒頭にお伝えしたように、理事、委員長の皆さんは、ボランティアでかかわってくださる仲間です。会いたくなる仲間、このやり取りを読んでいただくことでわかりあえる方々です。だからこそ、その皆さんにお任せし、今まで通り皆さんの力で創り出してほしいわけです。」

事務局長「では 最後の質問ですが、令和7年はどんな年になりそうですか？」

増澤会長「そうですね。日青協は、今でも空気ができていると思うんです。だから、会員が増加しているし、若い理事も多くなりまし



一般社団法人
日本青少年育成協会 会長

増澤 空

やる。若い方には思い切った企画をやっていただくのもいいですね。HSKフェアも11の委員会の一つですよ。『責任』や『志』を抱いてやっていることはわかりますが、我が社はそれだけではないように感じています。まじめすぎる活動ではなかなかここまで続かないし、ボランティアでやっているからと言って、威張る人もいない。困っている人をみたら手を貸してあげる、それが当たり前でしょうという感覚の仲間であって、そういう仲間と交流したい、これでもいいのではと思っています。ここに来たらそんな空気が漂う、そしてその空気を吸いに来なくなる空間ができればいいのではと思っています。

最後に、副会長の木村さんから、会員の皆さんたちのチャリティ基金がずいぶん増えてきたので、この基金を子どもたちのためにどのように使おうかという提案がありました。皆さんから、いろんな提案や活発な意見が飛び交い、本当にいい組織だなあとしみじみ思いました。「子ども食堂」や「離島における教育支援」など、来年への持ち越しになりましたが、空気が育む人の集団、ますますいろんな人、集団の方が参加されることを切に願っております。

事務局長「来年度（令和7年度）は日青協らしい空気漂う充実した年になりそうです。増澤会長、誠にありがとうございました。」



- 1994 内閣総理大臣によって、社団法人として許可される。
- 1995 阪神大震災被災者の子どもに対する「心の相談室」設置
- 1996 「ジュニア文芸大賞」「ジュニア・サミット・キャンプ」実施 「発想コンテスト」実施
- 1997 「ベトナムマングローブ子ども親善大使」実施開始
- 1998 「子ども地域環境フォーラム」実施
- 1999 「アメリカとの留学事業」開始
「HSK日本事務局」開設

- 2000 「サイクルロードレース2000」開催
「ライフデザイン・パスポート事業」開始
- 2002 「森と農業キャンプ」開催
- 2004 設立10周年 チャリティイベント 実施
不登校・ひきこもりフォーラム
教育コーチング事業
「教育コーチ養成講座Ectp」スタート



- 2005 「教育コーチング認定校制度」スタート
厚労省委託「若者自立塾」開設
- 2006 保護者対象「親力向上セミナー」スタート
- 2007 リーダーシップ研修「人生航海図セミナー」スタート
教育コーチング専門誌「パパ・ママコーチ」発刊開始
厚労省委託「サポートステーション沖縄」開設
会報誌「かけはし」創刊

- 2008 **「フリー・ビブス プロジェクト」開始**



「塾経営セミナー」開始

- 2009 設立15周年「記念シンポジウム」開催
「第1回 全国教育コーチングフェスティバル」開催
設立15周年事業として、
ラオスに学校建設開始
(2010年1月31日完成)



- 2010 「ラオスフェスティバル2010」共催
「リユースPC事業」開始
「HSK日本事務局」東京本部にて再スタート

- 2011 東日本大震災被災者支援活動
『復興の種』実施
HSK受験者数10,000人突破

- 2012 「ラオスフェスティバル2012」共催
**「教育相談・教育コミュニケーション
実技研修会」主催**



「全国教育コーチングフェスティバル2012」開催
HSK受験者数15,000人突破
韓国意見交換会&教育視察

- 2013 **「じゃぶじゃぶ池」支援**



一般社団法人に移行
HSK受験者数20,000人突破
HSK実施試験会場全国27か所に拡大
「全国教育コーチングフェスティバル2013」開催
96法人400校を認定／教育コーチ2,000人突破
E c t p受講者20,000人突破

- 2014 「全国教育コーチングフェスティバル2014」開催
「ラオスフェスティバル2014」共催
20周年記念「台湾意見交換会&教育視察」

- 2015 教育コーチング認定制度10周年記念
「With E-Coaching」開催
「アクティブラーニング実践講座」開講
北京HANBAN 交流&意見交換会

- 2016 「アクティブラーニング実践フォーラム2016」開催
**「第1回 HSK
中国留学・転職フェア」開催**



- 2017 「アクティブラーニング実践フォーラム2017」開催
「プレ スピーチコンテスト」開催
「マレーシア教育視察」
**「第2回 HSK(留学・就職)フェア」
大阪・東京にて開催**



- 2018 「アクティブラーニング実践フォーラム2018」開催
「ベトナム教育視察」開催
「第3回 HSK（留学・就職）フェア」大阪・東京にて開催
HSK受験者数30,000人突破
厚労省委託 若年者地域連携事業
**「NAGASAKI
しごとみらい博」主催**



- 2019 「第4回 HSK（留学・就職）フェア」東京・大阪にて開催
「アクティブラーニング実践フォーラム2019」開催
JPT日本語能力試験実施
教育メソッド普及委員会発足
HSK受験者数35,000人突破
厚労省委託 若年者地域連携事業
「NAGASAKI しごとみらい博」主催

- 2020 **国際交流事業
「オンライン中国留学」スタート**



(四川師範大学・復旦大学・北京理工大学/保定学院大学)
HSK留学・就職フェア オンライン実施
「アクティブラーニング実践フォーラム2020」オンライン開催
「NAGASAKIしごとみらい博」主催（オンライン実施）

- 2021 「かけはし未来基金」スタート
HSK受験者数 39,000人（過去最高）を突破
中国大学説明会 オンライン実施
HSK留学・就職フェア オンライン実施
オンライン中国留学実施
(華中科技大学・西南財経大学・復旦大学・蘭州大学・
南京大学・南開大学・天津大学・保定学院大学)
アクティブラーニング実践フォーラム2021

- 2022 「中文学習センター」開設
リーグ協賛事業をスタート
中国大学説明会 オンライン実施
オンライン中国留学実施
(西南財経大学・西安交通大学・天津大学・復旦大学・
蘭州大学・山西工商学院)
HSK留学・就職フェア オンライン実施
教育コミュニケーションフォーラム2022

佐世保市 若者市内就職 促進事業受託



五島市 事業所PR動画制作業務受託
長崎労働局 一体的の実施事業受託

- 2023 中国大学説明会 オンライン実施
ラオスフェスティバル2023共催
オンライン中国留学実施
(復旦大学・西南財経大学・四川大学・深圳大学)
HSK留学・就職フェア 開催
(東京・大正大学)



スタンドプロジェクト共催



CTCSOL（国際中文教師資格試験）実施開始

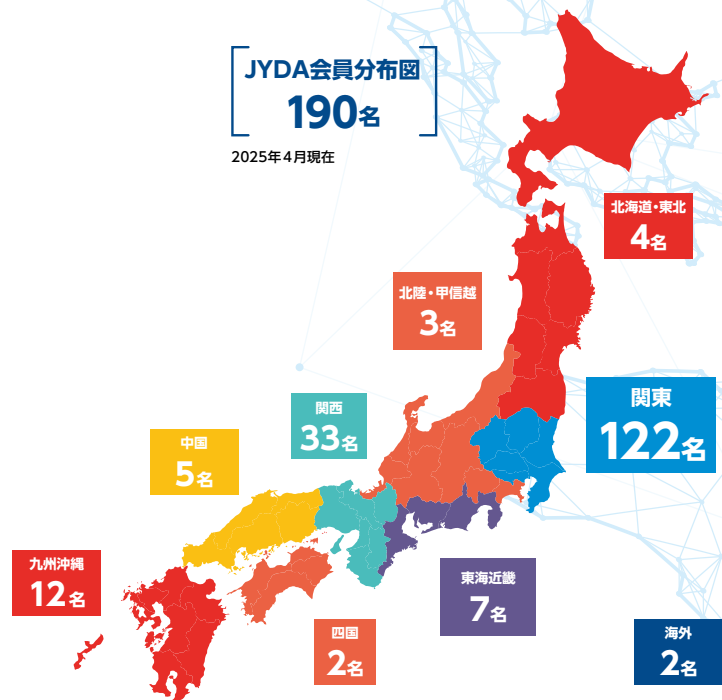
教育コミュニケーション フォーラム2023



佐世保市
若者市内就職促進事業受託
五島市
事業所PR動画制作業務受託
長崎労働局
就職氷河期世代活躍支援都道府県
プラットフォームを
活用した支援受託

- 2024 中文学習センター 受講者数累計400名突破
HSK留学推進室 留学生数累計2,500名突破
※オンライン留学含む

JYDA会員分布図
190名
2025年4月現在

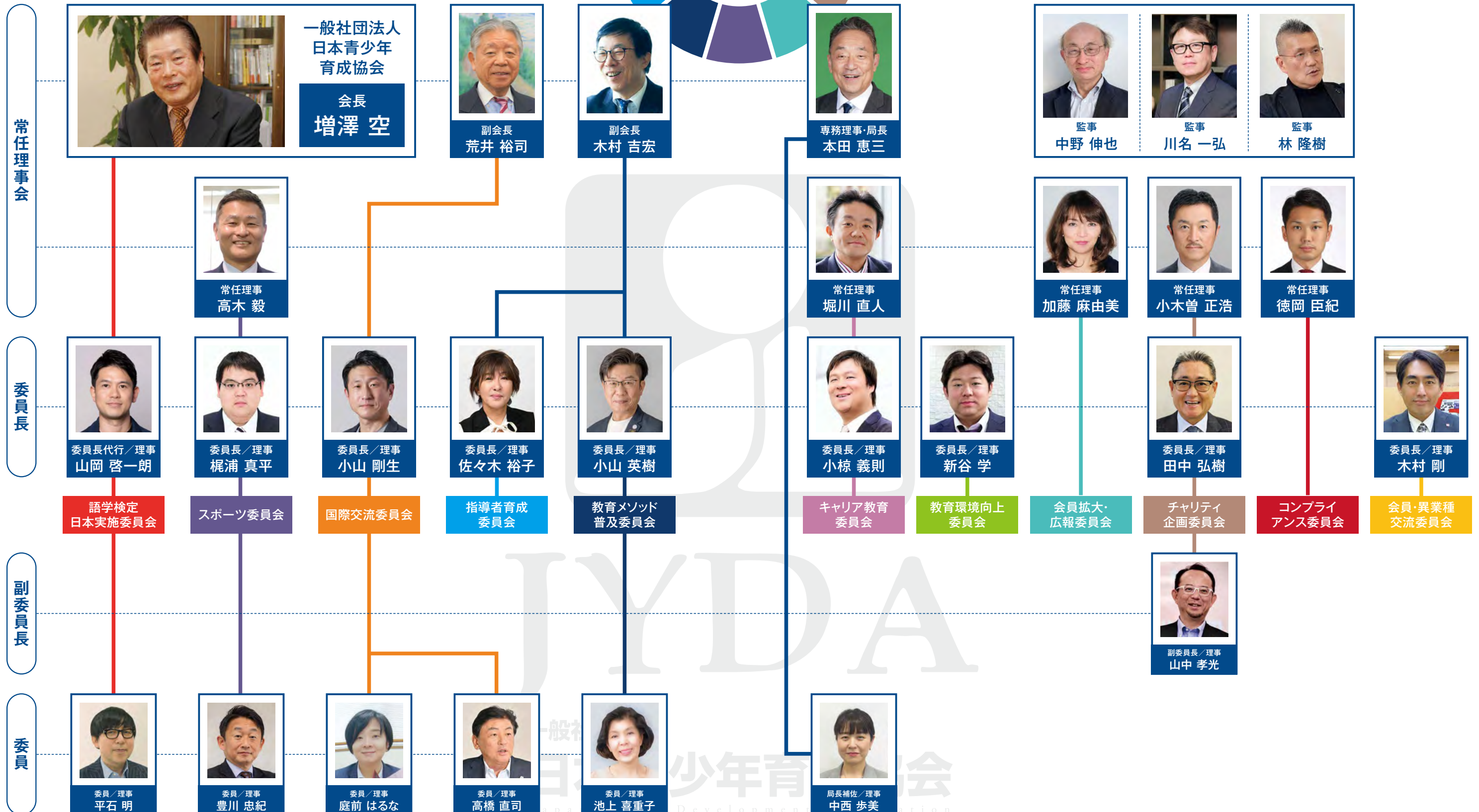




日本青少年育成協会では11の委員会

を設置しさまざまな事業を展開しています。

- 01 語学検定日本実施委員会
- 02 キャリア教育委員会
- 03 国際交流委員会
- 04 指導者育成委員会
- 05 教育メソッド普及委員会
- 06 スポーツ委員会
- 07 会員拡大・広報委員会
- 08 チャリティ企画委員会
- 09 教育環境向上委員会
- 10 会員異業種交流委員会
- 11 コンプライアンス委員会



HSKを通じて学び将来に活かす ~学習から留学・就職までサポート~

HSK STUDYで中国語を学び、日本全国でHSK試験が受けられ、奨学金を貰い中国留学に行き、HSKフェアで中国語を活かした就職を目指す。語学検定日本実施委員会ではこのすべてを提供しています。



47都道府県でのHSK試験実施

HSKとは、中国政府教育部（日本の文部科学省に相当）が認定し、中国中外言語交流合作中心が主催する中国語の語学検定試験です。現在、世界164の国と地域で実施されており、日本国内外を問わず、最も多くの受験者を擁する中国語検定となっています。2024年、日本国内でのHSK受験者数は33,815人に達しました。2012年にはわずか5都府県での開催だったHSK試験も、2024年ついに47都道府県すべてでの実施を実現しました。長年の目標として掲げてきた「全国展開」が、関係者の皆様のご尽力により結実した一年となりました。

はじめての中国語ワークショップ

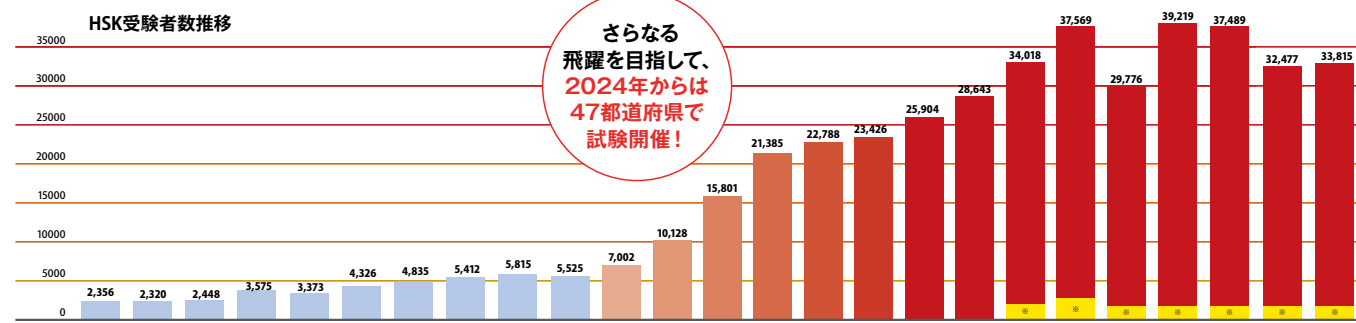
“千里の道も一歩から”。この言葉になぞらえ、「新宿区および豊島区から中国へ」を合言葉に、小学生向けの「はじめての中国語ワークショップ」を開催しました。新宿区および豊島区教育委員会の後援を得て、区内小学校を通じて案内チラシを配布した結果、合計132名の応募をいただきました。当

日は、HSK認定校・イーチャイナアカデミーの講師の皆さまのご協力のもと、和やかな雰囲気の中で授業を進行できました。最後には小中学生向け中国語検定「YCT」にもチャレンジし、学びの手伝えを実感してもらいました。



◆参加者の声

- ・小学校の同じクラスに中国人の友達3人いて、そのうちの1人が日本語がしゃべれなくて中国語ではなしてみたかったの、うれしいです。楽しかったです。
- ・ゲームが楽しかった。そしてテストは習った漢字があったからだいたい意味が分かった。



さらなる
飛躍を目指して、
2024年からは
47都道府県で
試験開催！

※黄色部分:日本国内孔子学院+インターネット試験での受験者数

第9回HSK中国留学・就職フェア2024開催

HSK中国留学・就職フェアは、HSK受験者・中国語学習者に向けた「中国留学」と「中国語を活かした就職」の実現をサポートする情報提供イベントです。2016年に世界で初となるHSKフェアが日本で開催されたのを皮切りに、現在では世界20カ国以上で展開されています。2024年は前年に引き続き大正大学（東京都）にて開催し、参加中国大学27校、参加企業17社、協賛企業11社で、過去最高となる2,104人の来場を記録しました。またHSKフェア開幕式には中華人民共和国駐日本大使館特命全権大使吴江浩閣下をはじめ、中国教育部外語交流合作中心副主任胡志平様や文部科学省高等教育局参事官佐藤 邦明様にもご臨席いただきました。



中文大会

2024年11月、北京にて開催された「世界中文大会」に参加いたしました。本大会は中国政府教育部の主催により、世界160以上の国と地域から、政府関係者、教育者、



学者、学生、外交官など2,000名を超える関係者が集う国際的なフォーラムです。本年は、優れたHSK試験実施団体に贈られる「全球示范考点（世界模範実施団体賞）」と、CTCSOL試験運営における「優秀考点（優秀運営団体賞）」の二つの栄誉ある賞を受賞いたしました。

さらに、日本国内における47都道府県でのHSK実施達成と、それを支える監督官育成・研修の取り組みについても報告を行い、大きな関心と反響を呼びました。

認定校交流会

年2回（6月・12月）、全国のHSK認定校を対象とした「認定校交流会」を開催しています。各地の現状や課題を共有し、今後どのような形で受験者・学習者を支えていくべきかを話し合う、有意義な対話の場となっています。「受験者数を増やすためには、まず学習者の裾野を広げることから」。この原点を忘れず、認定校の皆さまとともに、これからも中国語教育のさらなる普及を目指してまいります。

HSK STUDY

HSK STUDYでは、オンラインによるマンツーマンレッスンおよびグループ授業を通じて、柔軟で継続的な学びの場を提供しています。



2022年の開講以来、受講生は年々増加しており、2024年には延べ258名がHSK STUDYで中国語を学びました。今後も、一人ひとりの目的に寄り添った指導を通じて、合格だけでなく「使える中国語」の習得を支援してまいります。



CTCSOL

CTCSOL（国際中国語教師資格試験）は、中国語教育に携わる人材の育成を目的とし、中国政府教育部が実施する唯一の公式資格試験です。筆記試験（一次）と面接試験（二次）を経て、資格取得が可能となります。2024年は延べ100名が受験し、25名の新たな中国語教師が誕生しました。今後ますます需要が高まる中国語教育の現場において、即戦力となる人材の育成にも注力してまいります。



HSKを支える監督官

全国47都道府県でHSK試験の実施を実現できたのは、監督官の皆様のご協力の賜物です。現在2,000名を超える監督官の登録があります。監督官登録には、対面での新人研修に参加してもらう必要があります。試験への参加回数が増え監督官の経験を積むと、中国本部が実施している「監督官国際認定試験」を受験できる資格を得ることができます。さらに本認定試験に合格できると日本国内だけでなく世界中で実施されているHSK試験の監督官を務めることができます。毎年多くの監督官が「監督官国際認定試験」の合格を目指し挑戦しています。このようにHSKの為に時間を費やし、知能や技術を磨く努力をしています。監督官は、受験生に良い環境を提供するため、公平な試験を実施するために、規則を守り意識高く望んでくれます。HSKの試験会場が拡大でき、より多くの中国語学習者の方々にサービスを提供できるのも監督官の皆様お陰です。この場を借りて御礼申し上げます。

令和7年度 活動計画

- ・HSK/YCT日本事務局事業
- ・HSK奨学金キャンプ・オンライン留学・中国留学事業支援
- ・HSK関連書籍販売
- ・留学・就職フェア
- ・認定校支援中文学習センターなど漢考国際委託事業



キャリア教育を通じて、人・産業・地域の架け橋に！

地方における企業の人材不足解消の為に、地元企業と高校生を繋ぐ就職支援活動を実施しています。



企業の魅力発信で
若者の地元就職を促進する

【五島市事業所PR動画制作事業】

五島市内の高校生の地元就職促進を目的として、以下の事業を実施しました。

■五島市内高校を訪問し、ニーズ調査

■五島市内事業所に関する動画制作セミナー開催（年間1回 全11社参加）



■五島市YouTubeチャンネルでの動画公開・市内高校へのDVD配布：全5校



■五島市内高校生動画視聴及びアンケート回答及び集計



■参加高校及び生徒人数	全276名
長崎県立五島高等学校（昼間部）	63名
長崎県立五島高等学校（夜間部）	7名
長崎県立五島海陽高等学校	146名
長崎県立五島南高等学校	38名
長崎県立奈留高等学校	22名



いいね！：4233.momo、他
naruhighschool 1/27(月) 五島市が作成した、企業PR動画を全校生徒で視聴しました。
さまざまな業種の動画があり、働いている職員の方のインタビューなどとても分かりやすい内容で、生徒たちも興味を持ち視聴していました。

ほとんどの生徒が進学希望ですが、「職業を知る」という観点から大いに参考になる動画でした。将来の進路選択の際に立つ取り組みだと感じました。

長崎県立奈留高等学校Instagram



令和7年度 活動計画

・五島市委託 五島市事業所PR動画制作業務

世界に「日本が存在していてよかった」と思ってもらえる日本に

2025年の今、どの国も他国との協調なしには存立できません。そして一方、様々な国々が様々な利害関係を抱えて対峙しているのも事実です。そんな状況の中「国際交流」は「外国人同士の出会い」です。その時に、「誠実であること」、「相手に敬意を持って接すること」、「相手の文化を理解しようと努力すること」、「自身のアイデンティティをしっかりと持っていること」がとても大切です。



高校生海外公立高校1学年間留学

1学年間をホストファミリー滞在中をして海外の公立高校に通います。

実績：アメリカ29名、カナダ2名、ニュージーランド2名、オランダ1名



ニュージーランド高校生インバウンドプログラム

海外から高校生を受入れ、ホストファミリーに滞在し日本の高校に通学します。

実績：2ヶ月2名、4ヶ月2名



HSK中国留学個別支援プログラム

留学希望者の希望学部・研究分野、高校の成績、中国語力等をコンサルティングし中国の大学、大学院への進学をサポートします。
実績：大学学部7名、大学院1名

国際中国語教師奨学金プログラム

給付型奨学金で、授業料、宿泊費、保険料

免除、返済不要の生活費が支給されます。
実績：4週間-15名、1学期間-18名、1学年間-6名
大学本科（学部）-3名、大学院（修士）-5名

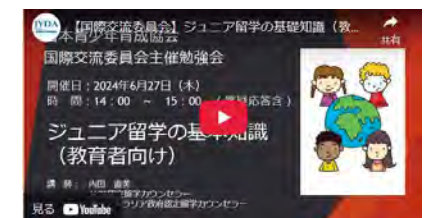
2024年南開大学「漢語橋」冬キャンプ
語学研修（2週間）-8名

HSKオンライン中国留学プログラム

有名大学と提携して、極力リアル留学に近づけたオンライン中国語語学研修プログラム
実績：復旦大学-79名、蘭州大学-46名
ハルビン師範大学-59名

国際交流応援校支援

「全国の子どもたちに国際交流・留学の可能性を広げたい」との思いから会員を対象に、今年もオンラインの勉強会を、計6回実施しました。



令和7年度 活動計画

・高校生1学年間留学（北米・オセアニア）
・国際中国語教師奨学金推薦状発行
・中国留学個別支援プログラム

・オンライン中国留学・中国留学説明会
・HSK中国留学・就職フェア
・国際交流応援校プロジェクト
・中国・欧米インバウンド交流プログラム



「教」から「育」へのトランスフォーメーションをリードする

指導者育成委員会はその根幹メソッドとなる教育コーチングの普及を通して、学校教育、民間教育、家庭教育、社会教育を支援し我が国の教育の「教(teaching)」から「育(coaching)」へのトランスフォーメーション(transformation=質的転換)をリードしています



日本青少年育成協会教育コーチング事業は2005年にスタートし、おかげさまで20周年を迎えます。その間、「教育コーチ養成講座Ectp」「教育コーチ検定」を核に、講演会、各種セミナー等を展開、延べ受講者は12万人を突破しています。

主催事業

教育コーチ養成講座Ectp

7つのステップで教育コーチ認定取得を目指す「教育コーチ養成講座Ectp」。2グレードのWEB講座を修了した方を対象としたLIVE講座ですが、東京・京都を中心とした公開会場で約20回開催し、教育コーチングにどっぷり浸り、仲間と共に磨き合う濃密な時間となりました。また「教育コーチング養成講座Ectp初級教育コーチ実践編」においては、全日程オンライン講座とし、北は北海道、南は沖縄まで、全国から教育コーチを志す皆さんに受講を頂きました。さらには各地の教育コーチング認定校準会場では、LIVE講座はもとより、ご希望のあ

った認定校準会場では、オンラインとLIVEのハイブリッド講座も運用・導入し、開催しました。これらを踏まえ、全国で活躍しています認定トレーナーが一堂に会する「指導者育成委員会兼トレーナー総会」におきましても、オンラインでの実施を行い、オンラインツールの可能性と有効性を検討。今後も大人の学びを止めない取り組みを続けていきます。

受託事業

講演会・研修・セミナー

(公的機関、民間企業、諸団体委託)
教育関係を中心に、2024年度も多くの団

体から講演会・研修・セミナーの依頼を受け、北は北海道、南は鹿児島まで、たくさんの方々に教育コーチングを学んでいただきました。こちらにつきましても、「教育コーチ養成講座Ectp」同様、LIVE講座はもとより、オンラインでの講演会、研修、セミナーを実施し、LIVEでおこなうものと遜色のない内容に各方面から過分なる評価をいただいております。大学や専門学校からの依頼、保護者講演会や教職員研修に加えて生徒向けの講演会依頼が増えているのも近年の特徴です。これからもLIVE、オンライン問わず、全国の皆様のご要望にお応えしていきます。



令和7年度 活動計画

教育コーチング事業

- 教育コーチ養成講座Ectp・検定・認定
- 『親力』向上セミナー
- 教育コーチング体験ゼミ
- 教育コーチング実践校認定・支援講座
- 『パパママ・コーチ・ニュースレター』発行
- その他講演・セミナー



「育む」を「学ぶ」 がんばる先生・保護者を応援する

先生・子どもたち・保護者、そして社会の未来を切り拓く「主体的・対話的で深い学び」を探究・実践・普及しています



Society5.0がすべての人々にとってWell Beingな状態であるために、今、教育はどうあるべきか…教育メソッド普及委員会は探究し続けています。

令和6年度の活動としては、

①教育コミュニケーションフォーラム

2024開催(主催)「わたしたちの教育は、学習者の「非認知スキル」を高められているのか。」をテーマに、基調講演、午前・午後2回に渡るプレミアム分科会、ワークショップを実施。参加者の満足度は98%に達しました。

②教育コミュニケーション講座(後援)

教育の成果を最大限に高めるコミュニケーションを習得する講座。基礎課程からエグゼクティブ認定講座まで7段階の講座を開催しています。

③アクティブラーニング実践講座

「主体的・対話的で深い学び」型のオーダーメイド型研修。スキルだけでなく、自身の仕事観や働き方・生き方にまで変容があったという喜びの声がありました。

④みらいの先生応援プロジェクト(後援)
学校教員・教育業界を目指す学生を支援する「みらいの先生オンライン講座」には多

くの学生が参加。この講座はオンラインコミュニティの参加費で支えられています。



令和7年度 活動計画

- 教育コミュニケーションフォーラム
- 教育メソッドおよびアクティブラーニングの実践・普及事業



スポーツ委員会 ビブス・タープの提供 リーグ協賛を通して子どもたちの可能性を応援しています

スポーツを通じて実現する子どもたちの健康的な成長・人間力の育成を支援しています。



フリービブスプロジェクトの活動

「スポーツする子どもを応援する」というテーマのもと、全国のジュニアスポーツチームに、『無料でビブス・タープをプレゼントする』プロジェクトとして2008年から活動をスタートさせました。昨年は同志



社大学の学生団体を通してカンボジアの小学校の子どもたちにビブスを届けることができました。2023年からは多くの子どもたちに試合の出場機会を増やして、人間力の育成に繋げる取り組みとして企業とスポーツリーグの

協賛マッチングも実施しています。

gocupブラジル遠征協賛

世界最高レベルのジュニアサッカー国際大会『gocup』に出場する日本選抜チームを協賛企業と共に応援しています。

令和6年度実績	実績	協賛企業様(順不同)
フリービブス提供	7チーム	株式会社塾と教育社・株式会社サクシード・株式会社SRJ
リーグ協賛	1リーグ	株式会社ヒューマレτζ
gocup協賛	1,881,1000 円	株式会社ヒューマレτζ・株式会社ティエラコム 株式会社やる気スイッチグループ・学校法人上田煌煌学園・株式会社成基ケイ・イー・シー・株式会社・株式会社アクトプロ

▶協賛企業募集中!

ビブス・タープ・リーグ協賛にご協力いただける、協賛企業を随時募集しております! 詳細についてはフリービブスプロジェクトのホームページをご参照ください。



令和7年度 活動計画

- ・ビブス・タープ提供プロジェクト
- ・スポーツリーグ支援プロジェクト



会員拡大・広報委員会 皆様と一緒に委員会活動を通して学び育む

日本青少年育成協会では、11の委員会が様々な活動を行っています。先行き不透明な次代と一緒に切り拓いてまいりましょう。



日本青少年育成協会の活動にご共感いただいた12の法人に2024年度はご入会をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。先行きが不透明な次代に、大人も子どもも「生きる力」をつけることがより重要になってきていると感じます。各委員会の活動を通じて、青少年の育成を通じて、学びを拡げることができます。仲間たちと様々なことを共有しながら、年齢に関係なく成長

することができます。増澤会長が令和7年度に向けて「困っている人をみたら手を貸してあげる、それが当たり前でしょう」という感覚の仲間であって、そういう仲間と交流したい、これでいいのではと思っています。ここに来たらそんな空気が漂う、そしてその空気を吸いに来なくなる空間ができれば良いと思います」とおっしゃっていました。この美味しくて楽しい空気を皆様と一緒に世界に充満させることができたら

嬉しいです。中国語検定HSK、指導者育成教育コーチング、国際交流、スポーツ、キャリア教育、アクティブラーニング、異業種交流、チャリティ、教育環境向上、コンプライアンス…各委員会の活動を多くの皆様に知っていただきご参加いただけるようお願いいたします。今年度も引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新会員のご紹介

株式会社新華コンサルティング(東京都)	検定機関	株式会社JJcamp(東京都)	幼児教室
学校法人西大和学園(大阪府)	大学・専門学校	株式会社国際華文教育センター(神奈川県)	英会話(外国語)スクール/中学・小学校
株式会社演和学館(大阪府)	英会話(外国語)スクール	合同会社東京外語学院(東京都)	英会話(外国語)スクール
一般社団法人中国留学生史研究協会(東京都)	国際交流・留学	WO HUI PTE. LTD.(シンガポール)	検定機関
XinXin中国語アカデミー(神奈川県)	英会話(外国語)スクール	学友国際学院(大阪府)	英会話(外国語)スクール
特定非営利活動法人日中留学推進機構(東京都)	国際交流・留学	中国語教室 ee!chai(埼玉県)	英会話(外国語)スクール

令和7年度 活動計画

- ・会報誌『かけはし』作成/ホームページ関連
- ・イベントの広報活動(HSK中国留学転職フェア HSKキャンプ コーチング事業等各事業部の広報)
- ・SNSによる情報発信と会員フォロー
- ・『塾と教育』本誌、メルマガ、WEBサイト等の媒体での広報活動



チャリティ企画委員会

皆さまからの温かいご支援に心より厚く御礼申し上げます

チャリティ企画委員会は皆さまからの温かいお気持ちをカタチに変え、それを必要とする青少年や人々に繋ぐ架け橋として尽力して参ります。

チャリティ企画委員会は、令和6年度もチャリティゴルフイベントを主として活動して参りました。理事会、総会に合わせたコンペを4月兵庫、5月神奈川、12月兵庫、1月は沖縄でそれぞれ盛況のうちに無事開催することが出来ました。ご参加頂き、そして積極的にチャリティして頂きました皆さまに心より御礼申し上げます。チャリティ委員会と致しましては、皆さまから寄与されたそのチャリティを皆さまにより分かりやすいカタチにしていきたいと考えております。具体的にはラオスの小学校建設やジャブジャブ池の設置、また一昨年スポーツ委員会と事務局の連携により始まったオ



ーシャンズリーグへの参画といったものです。また木村副会長から提案され、皆さまから集められた日青協らしい素晴らしい企画やご助言を実行に移すべく、会長はじめ



皆さまと話し合いながら皆さまのチャリティの種を蒔き育て、カタチにして参りたいと存じます。引き続き日本や世界の子どもの笑顔に繋がるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年度参加者（延べ）あいうえお順

今井 博幸、小木曾 正浩、川名 一弘、梶浦 真平、木村 吉宏、小池 泰司、佐々木 裕子、佐々木 喜一、尚 捷、高木 毅、高橋 直司、田中 弘樹、壇 明秀、長嶋 顕信、豊川 忠紀、服部 悠太、廣政 悠一、本田 恵三、望月 将史、山中 孝光

日付	チャリティ金額			
	2024/4/21	2024/5/26	2024/12/15	2025/1/26
場所	兵庫県 山の原ゴルフクラブ (山の原コース)	神奈川県 泉レイクウッド GC	北海道	兵庫県 山の原ゴルフ倶楽部 (密里コース)
金額	¥159,500	¥119,500	¥12,000	¥109,500
令和6年度 チャリティ金額合計			¥510,000	

令和7年度活動計画

- ・チャリティイベント（年4回+小規模開催）
- ・HSK奨学金短期留学



教育環境向上委員会

子どもたちの未来のための「教育環境」向上を支援します

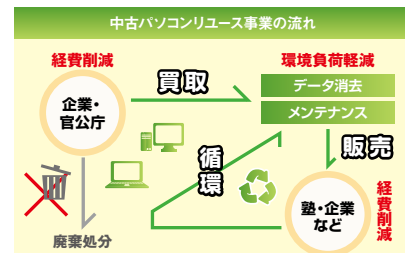
リユースPC及び、コスト適正化事業での売上の一部を「かけはし未来基金」へプールし、外郭団体への協賛も行います。

未曾有の時代の今、将来の日本を背負う子供たちの教育環境は目まぐるしく変化し、所得格差の広がりとともに教育格差は更に広がっています。教育環境向上委員会では2010年以降リユースPCを通して教育環境の向上に努めており、2021年度から「かけはし未来基金事業」を展開しております。当事業は、リユースPC・タブレットの普及に加えて、塾や企業の間接コストの適正化（電力、複合機、賃料など）によって生まれる収益の一部を基金とし、



教育環境向上に繋がる活動・団体へ協賛しております。2024年度までに550万円を基金に充当することができており、今年度は会

員企業様の枠を超えて、会員外の企業様へもこの活動を普及させていきたいと考えております。



令和7年度活動計画

- ・中古PC・タブレット販売
- ・コスト適正化サービス



会員異業種交流委員会

志をともにする同志と未来を語り合う

「リアルとオンラインの二刀流」を駆使して、これからも会員同士の交流の機会を皆さまに提供してまいります。

令和6年度日本青少年育成協会総会

令和6年5月25日（土）、オンラインと会場（大正大学）参加によるハイブリッド形式で開催し、探究学会代表の宝槻泰伸様による講演会「勉強をやめて探究へ」を行いました。約200名の参加者一人ひとりが思考・アウトプットをしながら、主体的に参加するスタイルで進行し、終了後のアンケートでは96.7%の方に「満足」とお答えいただきました。



◆講演会のアンケートから

宝槻氏の講演会に参加した方々のアンケートには、次のような感想が寄せられました。その一部をご紹介します。「今回は、学習塾業界をターゲットに話されていたイメージですが、これから何年後か先に、受験マーケットが探究マーケットに変わるかも知れないなど、非常に楽しい話題でした」「何となく世の中で重要視されていること、時代が変わってきていることを明確に言語化いただいたことに大変価値を感じました。」「受験勉強を補助するという従来の学習塾の形態は需要が完全になくなることはないと考えられますが、探究をターゲットにした塾（教育機関）は必要とされる場面が多くなると予測できました。新たな市場への挑戦をしてみたいと思います」

令和6年度異業種交流会

会員異業種交流委員会では、会員様同士の交流や自社事業の紹介などを行う会を開催しています。令和6年10月19日（土）、この交流会を「KEC外語学院梅田本校」の会議室で開きました。今回は会員様から4社が参加。会員外の会社から1社の方がゲストとしてプレゼンをしてくださいました。参加されたのは、（一社）ジュニアスポーツライフネットワーク代表の武田様、（株）クローバー・ネットワーク・コム関西営業部部長の木暮様、大和大学副学長の松本様、

KEC教育グループ梅田本校所長の古屋様、（株）花形代表の小澤様です。また、木村副会長、堀川常任理事、新谷理事、小山理事などにも参加していただきました。

令和6年度理事意見交換会

令和6年12月14日（土）、大阪で開催。2024年度の活動内容を報告するとともに、次年度のスケジュール調整や今後の活動に関する意見交換などを行いました。会議終了後は、地元関西の会員様にもご参加いただき、賑やかな交流会に。今後も各地で開催する理事会・意見交換会などに、お声をかけさせていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



第3回理事会

令和7年1月25日（土）、沖縄県那覇市にある「ハイアットリージェンシー那覇沖縄」で令和6年度第3回理事会を開催。令和7年度の活動方針・事業計画・予算案が上程され、審議の結果、承認されました。会議終了後には会員様である（株）Lacicuの服部様と（株）学びエイドの廣政様にプレゼンテーションをしていただき、懇親会でも楽しいひと時をご一緒させていただきました。

令和7年度活動計画

- ・総会・理事会の企画補助
- ・異業種交流会の実施
- ・日青協イベント支援（留学フェア・コーチング・HSK）（ラオスフェスティバル支援）

コンプライアンス委員会
コンプライアンス遵守への啓蒙

社員の安全・安心な環境構築、有給休暇の取得など労働者の権利の遵守、教育の質を高める目標に向けたガバナンスの強化とコンプライアンスの遵守を目指してまいります。

令和7年度活動計画

- ・コンプライアンス遵守への啓蒙
- ・就業規則や運用方法など各団体の知見の集約と共有
- ・労働紛争など突発的なトラブル時の相談窓口（弁護士等）の準備と共有



理事

※2025年4月理事会にて承認済。2025年5月総会にて審議・承認後の役員はホームページにて公開。

役 職	役員氏名	所属団体	役 職
会 長	増 澤 空	株式会社ティエラコム	代表取締役社長
副 会 長	荒 井 裕 司	学校法人さくら国際高校	理事長
副 会 長	木 村 吉 宏	株式会社ヒューマレッジ	相談役
専務理事	本 田 恵 三	一般社団法人日本青少年育成協会	事務局長
常任理事	小 木 曾 正 浩	株式会社クロノクリエイト	代表取締役
常任理事	加 藤 麻 由 美	株式会社塾と教育社	代表取締役社長
常任理事	高 木 毅	株式会社サクシード	代表取締役社長
常任理事	徳 岡 臣 紀	株式会社トモノカイ	代表取締役社長
常任理事	堀 川 直 人	株式会社 SRJ	代表取締役
理 事	池 上 喜 重 子	学校法人池上学園	理事長
理 事	小 椋 義 則	株式会社ケーイーシー	代表取締役
理 事	梶 浦 真 平	中央教育研究所株式会社	代表取締役
理 事	木 村 剛	ケイ・イー・シー・株式会社	代表取締役社長
理 事	小 山 英 樹	株式会社対話教育研究所	代表取締役
理 事	佐々木 裕 子	成基コミュニティグループ	最高執行責任者
理 事	新 谷 学	株式会社アクトプロ	代表取締役
理 事	高 橋 直 司	株式会社やる気スイッチグループ	代表取締役社長
理 事	田 中 弘 樹	株式会社ピーシー・インクス	顧問
理 事	豊 川 忠 紀	株式会社創英コーポレーション	代表取締役
理 事	庭 前 はる な	株式会社心水出版	代表取締役
理 事	平 石 明	株式会社スプリックス	取締役
理 事	山 岡 啓 一 朗	Gogaku 株式会社	代表取締役
理 事	山 中 孝 光	株式会社なるほどゼミナール	代表取締役
新 理 事	小 山 剛 生	株式会社フェロシップ	代表取締役
新 理 事	中 西 歩 美	一般社団法人日本青少年育成協会	事務局長補佐

監 事

日青協役職	代表者氏名	法人名・団体名	所属団体肩書
監 事	川 名 一 弘	株式会社イーブレイン	代表取締役
監 事	中 野 伸 也	中野会計事務所	所長
新 監 事	林 隆 樹	一般社団法人海外留学協議会	評議員

相 談 役

日青協役職	代表者氏名	法人名・団体名	所属団体肩書
相 談 役	川 野 辺 敏	民間教育研究所連盟	顧問

顧 問

日青協役職	代表者氏名	法人名・団体名	所属団体肩書
特 別 顧 問	佐々木 喜 一	成基コミュニティグループ	会長
最 高 顧 問	永 瀬 昭 幸	株式会社ナガセ	代表取締役
顧 問	大 島 九 州 男		参議院議員
顧 問	下 村 博 文		元衆議院議員